

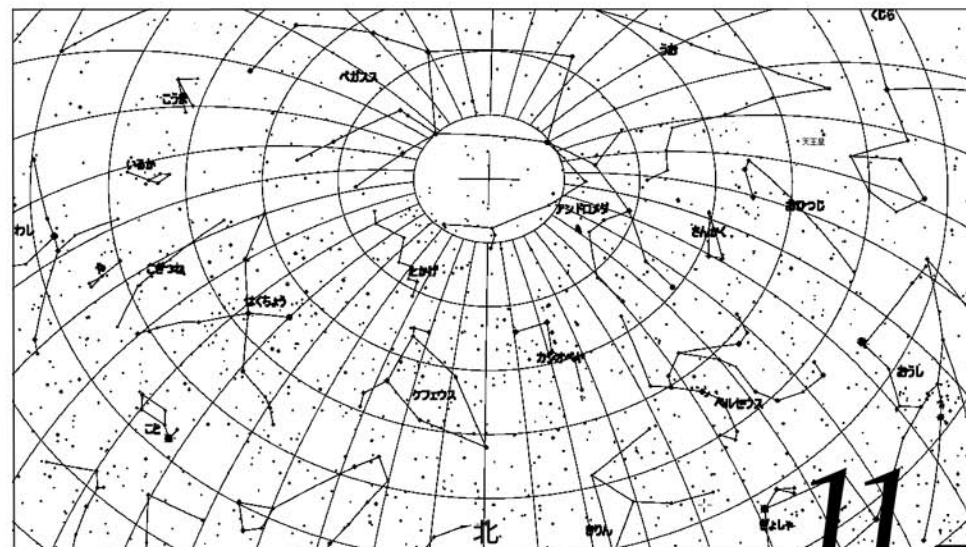
姫天だより

★今月のテーマアンドロメダ大星雲を観る会（流れ星を見てみよう）

この2ヶ月お月見をしてきましたが、今月は月の影響の少ない土曜日に観望会を行います。私たちのお隣の銀河アンドロメダ大星雲を双眼鏡。望遠鏡で見ませんか？

流れ星を見たことがない方は、今月は注目かもしれません。11月6日におうし座南流星群が極大、13日におうし座北流星群が極大の頃になります。数はそんなに多くありませんが、明るく火球めいた流星が見られることで知られていますので注目してください。また、18日には、しし座流星群も極大を迎えます。月明かりがあるので今年はあまり条件は良くありません。母彗星のテンペル・タトル彗星は遠日点をUターンしましたが次回の大出現は2034年頃、それまでは例年同程度の流れ星が見られると予想されていますので、流れ星を見たことがない人はチャンスですよ。

公民館祭りの開催される3日には、くじら座の変光星ミラが極大に近づきます（予想は7日ごろ）。3～4等星にはなるでしょうから、肉眼で確認することが出来ます。普段は見えない心臓の星チャレンジしてみてください。ちなみにミラという名前はラテン語で不思議という意味があります。明るくなったり暗くなって見えなくなったり、昔の人には不思議に思えたのでしょうか。



10月15日午後8時の北の空

★今月の星座 アンドロメダ座

11月号
2019

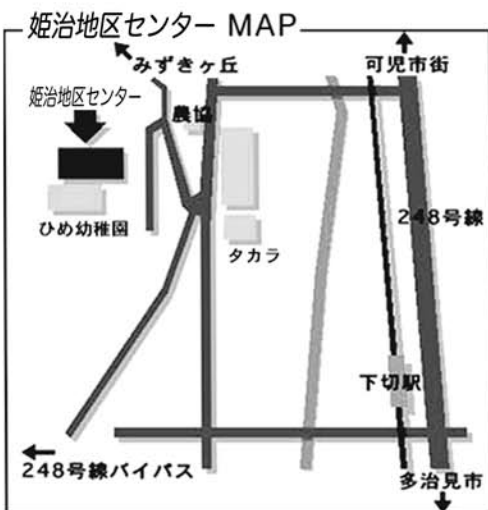
-次回の天文クラブ-

●11月の星を見る会

11月16日(土)午後7時30分より
土星の観察
秋の星座教室

●クリスマス之星

12月21日(土)午後7時30分より
オリオン大星雲の観察
冬の星座観察



JR太多線下切駅より徒歩13分

2019年11月1日発行

※観望時は冷えますので暖かい格好で来てください。

姫治地区センター
岐阜県可児市下切 1530
☎0574-62-0104
姫治天文台
<http://himeziten.yu-yake.com/>

※観望会についてのお問い合わせは
姫治地区センター (62-0104) まで

11月下旬の午後8時頃に頭の上に見えるこの星座は、秋の星座の目印ペガサスの四辺形の北東の星から探すことができます。この星はアルフェラッツという名前がついていますが、意味は馬のへそ、アンドロメダ姫の頭の星としてはちょっと残念な名前ですが、この星から北東の方角にホップ・ステップ・ジャンプと三段跳びの要領で、胸の星、腰の星、足の星とたどっていきます。そしてその並びのすぐ北側に少し暗い星で同じように三段跳びの要領で胸の星、腰の星、足の星と細長いVの字型、私たちは腰の星を結んで、細長いAの文字型、そうアンドロメダ姫の頭文字Aの形に並んだ星の並びを探してくださいと案内していますが、これがアンドロメダ座です。

アンドロメダはエチオピアの王女で、お母さんのカシオペアが自分の美しさを海の妖精たちよりも美しいと自慢した為に、海の王ポセイドンの怒りにふれ、化けくじらティアマトをさしむけてエチオピアの海岸で大暴れさせ、その怒りを鎮めるためにアンドロメダ姫はすすんでいけにえになるのですが、天馬ペガサスに乗ったペルセウスによって化けくじらは退治されペルセウスとアンドロメダは結婚して幸せに暮らしましたとエチオピア王家の物語で皆さんにもよく知られています。

また、この星座にはアンドロメダ大星雲 (M31) という私たちの住んでいる天の川銀河のお隣の銀河が見えます。お隣といっても230万光年も離れているのですが・・・その場所は、星座の見つけ方のAの文字の横線、明るいほうのβ(ベータ)星ミラクとν(ニュー)星を結んで同じ長さ伸ばした位置に、月のないよく晴れたくらい夜にはボーッと小さな雲のように肉眼でも見ることができます。